

インドネシア  
「グリーンウォール」の普及と拡大  
現地からのお便り（2022年7月～2023年6月）

2023年8月  
Konservasi Indonesia<sup>1</sup>



グリーン・ウォールの外観

### グリーン・ウォール・プログラムの15年目

グヌングデ・パングランゴ国立公園での活動は2008年に開始し、15年目を迎えました。プロジェクトでは上流域の300haの森を地域コミュニティと協力して再生する「グリーン・ウォール」

---

<sup>1</sup> コンサベーション・インターナショナル・インドネシアは2022年に現地法人 Konservasi Indonesia を設立し、これまでの活動は Konservasi Indonesia が引き継いで実施しています。

ル」プログラムを進めています。森林が再生すると、周辺の地域コミュニティにも様々な恩恵がもたらされます。

2022年から2023年にかけては、これまでに植林した12万本の木のモニタリングやメンテナンス、地域コミュニティ対象の活動を継続して行いました。

### これまでに再生した森のモニタリング

プロジェクトでは、植林サイトのモニタリングを継続して実施し、天候や害虫、周辺コミュニティでの活動の影響などを確認しています。モニタリングは毎月国立公園レンジャーおよび地域コミュニティと協力して実施するほか、年に1度植林した木の成長を測るデータ収集を行っています。

昨年度は、2022年8月に7名の国立公園スタッフとコミュニティ住民が参加してモニタリングとデータ収集を行いました。その結果、これまでに植林した97%が概ね良好に成長しており、多くの木に果実が実っていることが確認できました。熟した果実が地面に落下し、その種から新しい芽が生えている様子も見られました。

過去3年間のデータを比較すると、それぞれの木が順調に成長している様子が窺えます（表1）。

木の種類	平均値							
	樹径 (cm)				樹高 (m)			
	2020年1月	2021年2月	2022年1月	2022年8月	2020年1月	2021年2月	2021年11月	2022年8月
ラサマラ ( <i>Altingia excelsa</i> )	15.8	16.8	16.8	17.1	6.6	7.8	8.1	8.3
ヒメツバキ ( <i>Schima walicii</i> )	11.7	13.5	13.7	13.9	7.6	8.1	8.6	9.1
ヒメタイサンボク ( <i>Manglietia glauca</i> )	12.9	13.4	13.7	14.1	7.1	8.5	8.8	9.1
クスノキ科の一種 ( <i>Neolitsea javanica</i> )	11.8	14.0	14.3	14.6	9.0	9.8	10.0	10.2
スリアン ( <i>Toona sureni</i> )	20.4	21.1	21.3	21.5	11.6	12.2	12.7	13.2
ジタノキ ( <i>Alstonia scholaris</i> )	22.4	22.4	22.6	22.8	8.9	9.5	9.8	10.1
ホルトノキ科の一種 ( <i>Elaeocarpus pierrei</i> )	14.2	14.4	14.7	15.1	7.6	8.8	9.1	9.4
フトモモ科の一種 ( <i>Eugenia clavimirtus</i> )	13.2	14.6	14.8	15.0	8.3	9.5	9.8	10.1

表1：過去3年間（2020年1月～2022年8月）の木の樹径および樹高の比較



森林再生地でのモニタリング活動



樹径を測る様子

### 環境教育の実施

2023年3月、Koservasi Indonesia は国立公園およびパートナーNGO と連携し、民間企業（MSIG Indonesia）の社員 25 名のグリーン・ウォール視察を受け入れました。視察プログラムではグリーン・ウォールの取り組みや森林がもたらす地域への恩恵について考え、ディスカッションを通じて学びを共有しました。また、フィールド活動では、実際に調査プロットを作り、プロット内に存在する樹種を確認し、木の成長段階に応じたそれぞれの樹種の本数を数えたりしました。



フィールド活動では、調査プロットを作り、樹種や本数を観測

## グリーン・ウォール内の野生生物観測

グリーン・ウォールによって再生された森林は、地域の野生生物の貴重な生息地にもなります。プロジェクトでは、毎年グリーン・ウォールで野生生物のモニタリングを実施して、野生生物の数や種類の変化を追っています。昨年度は2023年1月に国立公園スタッフと地域コミュニティメンバーでモニタリングを行い、特にカエルの種類に着目して目視による観察を行いました（写真参照）。



Asian Giant Toad (ヒキガエルの一種)  
*Phrynoidis aspera*



Crabeating Frog (ヌマガエルの一種)  
*Fejervarya limnocharis*



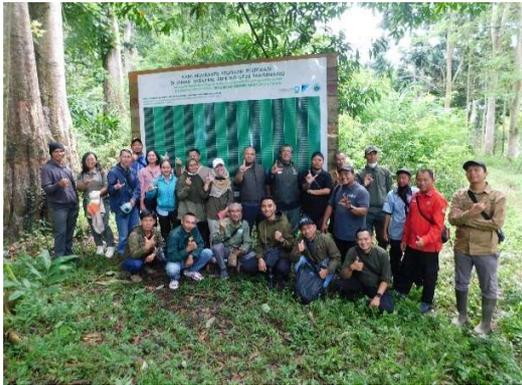
カニクイガエル  
*Fejervarya cancrivora*



Hasselt's litter frog (コノハガエルの一種)  
*Leptobrachium hasseltii*

## 看板

サイトには、プロジェクトの看板が5つ設置されており、毎月看板の状況もチェックしています。看板は全て良好な状態です。



看板①



看板②



看板③



看板④



看板⑤

### 次年度の活動（2023年7月～2024年6月）

来年度もグリーン・ウォール地域の植生や生態系モニタリング、看板の管理、周辺地域の学校を対象とした環境教育を継続して実施します。

※文中の写真は ©Koservasi Indonesia  
 ※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。